

## 学生と働く臨床検査技師のビジョン

◎浅野 琴美<sup>1)</sup> 池田 恭子<sup>1)</sup> 木築 友里<sup>1)</sup> 清水 晴香<sup>1)</sup>  
神戸常盤大学保健科学部医療検査学科<sup>1)</sup>

私達が通う神戸常盤大学には保健科学部に医療検査学科、看護学科、教育学部にこども教育学科があり、短期大学に口腔保健学科があります。1回生では、この4学科でグループディスカッションを中心とする授業を通し、他学科との触れ合う機会があります。また、学年が進むと医療検査学科と看護学科の合同講義があり、チーム医療について学ぶことができます。医療検査学科の3回生は様々な実習やRCPCの演習を受けており、検査データを読み、理解できるような臨床検査技師を目指しています。

私達は現在医療検査学科の3回生ですが、1回生時の入学直後に小グループに分かれて病院を訪問し、臨床検査室だけでなく病院内の様々な部署を見学させて頂き、患者では見ることができない現場を知る機会がありました。

また、3回生になると就職ガイダンスが始まり、実際に働いている卒業生のお話をきく機会がありました。そこで、病院やクリニックなど働く場所によって臨床検査技師の求められている能力や人物像が異なっているのではないかと考えるようになりました。だから、もっと現場で働く臨床検査

技師の考えを知りたいと思っていたところ、この発表の機会を知り、他校の様子も知りたいと応募致しました。

私達は臨地実習でお世話になる先生方から病院側が求める臨床検査技師像、本学生に学生が考える理想の臨床検査技師像について以下のような質問を行い、両者の相違点を探り、発表しようと考えています。

<質問例>

【病院側】

- ・どんな臨床検査技師と働きたいか。
- ・働き始めてから学生時代の想像していた事との相違点。

【学生側】

- ・どんな臨床検査技師になりたいか。
- ・どこに就職したいと考えているか。
- ・今努力していることは何か。

頂いた回答をもとに私達が今すべきことは何かを考え、まとめます。そして、あと1年半程でできることなどを他校の皆さんともディスカッションしたいと思っています。